

～災害復旧のスペシャリスト～ ムサシ興発（株）



平成30・31年度国道298号道路清掃作業

まだ記憶に新しい昨年7月の台風7号及び前線により、大きな被害を受けた岡山県倉敷市への復旧活動にご尽力いただいたムサシ興発（株）。

普段は主に国道298号の路面清掃や歩道清掃などの維持作業を行っているこの会社は、台風や土砂災害はもとより、大雪、津波などの自然災害が発生すると、TEC-FORCE（※）と一体となり、北首都国道事務所長の指示により素早く災害現場に出動する体制を備えている建設会社である。



排水ポンプ車の派遣状況



倉敷市の住宅街での活動状況



TEC-FORCE隊との作業開始前の打ち合わせ

緊急事態への備え、対策の大切さ

今回の活動は、河川の氾濫により浸水した岡山県倉敷市の幹線道路や住宅街で、平成30年7月17日から31日の2週間に亘り、堆積した土砂を散水車で除去する作業となった。また、関東地方整備局保有の排水ポンプ車も倉敷市へ派遣することになり、まさに会社挙げての復旧活動となった。

最高気温が37℃近くになる猛暑の中、スコップによる人力除去も含まれている為、水分・塩分補給、十分な睡眠など熱中症対策を心がけた。

これまでテレビでしか見る事のなかった災害現場に実際に足を運び、災害復旧に携わる中で、「自然災害の恐ろしさ、緊急事態への備え、対策の大切さを感じた。いつ、どこで発生するかわからない災害に対してどう備え、実際に起こった際にはどう行動すべきかを改めて自身でも考えたいと思った。」と派遣された小林さんは語る。

※TEC-FORCE（緊急災害対策派遣）とは
大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大や二次災害の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するもので、関東地方整備局等の職員が活動する。

数々の出動経験がノウハウに

昨年1月の大雪時、散水車から除雪車へと役目を代えて国道298号の除雪作業を行い、9月の北海道胆振地方での地震時も、関東地方整備局が保有する照明車など多数の災害対策用機械を北海道まで運搬した。

平成23年の東日本大震災では、津波により浸水した仙台空港に排水ポンプ車を派遣するなど、これまでの数々の経験による「ノウハウ」が社内で共有され、全国各地で災害が発生すると、指示がある前に出動準備を始めるという、まさに災害復旧活動のスペシャリストである。

災害発生時、特に遠く離れた場所での復旧活動では、現地での「しっかりした指揮、連絡システムが必要だ」と、これまでの多数の経験から語る。



海野さんと小林さん

感謝の言葉が力に

倉敷市への出動は、当初、終わりの見えない初めての土地での作業だったが、自らも被災を受けている多くの住民の皆様からも「ご苦労様。遠く埼玉県からわざわざありがとうございます。きれいになりました、助かります。」と多くの暖かい言葉をかけていただき、「感謝された事が非常に嬉しかった。翌日の作業を行う力になった。」と海野さんは語る。

今回は、前半、後半の2班体制で休日なしでの対応だったが、この4月から労働基準法が変わり、時間外労働の上限規制などが適用される。災害の復旧・復興事業には例外規定を設けるとはいえ、今後は交代要員の確保など、余裕のあるチーム体制とすることで、人口減が続くなかでも若い人が来くなるような、より良い会社にするために社内での改革を検討している。

山梨県内への除雪派遣状況



昨年1月の国道298号草加市新善町付近の除雪状況

平成30・31年度国道298号道路清掃作業の概要

工期	平成30年4月1日～平成32年3月31日
工事場所	埼玉県和光市新倉～三郷市高州の国道298号
工事概要	路面清掃 約1,400km
	歩道清掃 約300,000m ²
	横断歩道橋清掃 約26,000m ² など